

令和元年 12 月 11 日

議会議長 中 野 博 様

文教厚生委員会  
委員長 長 澤 務

### 閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第 77 条の規定により、次のとおり報告いたします。

#### 記

- 1 開催日時 令和元年 11 月 7 日（木）午前 9 時 00 分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

#### (1) 生活支援体制整備事業の取組み状況について

介護保険法に規定された地域支援事業である生活支援体制整備事業は、地域包括ケアシステムの柱のひとつである。町の生活支援体制整備事業の経緯と実績について説明がなされた。

平成 28 年度より、社会福祉協議会への委託事業として配置されている生活支援コーディネーターによる、地域の支え合い勉強会・協議会では、地域の困りごとの共有や課題解決に向けた協議が行われている。また、担い手の養成として、介護予防・生活支援・運転のボランティア養成講座を開催しており、自立生活の支援や、ボランティア自身の生きがいづくりに効果をあげている。

第六次函南町総合計画において目標としている高齢者の居場所づくりについては、令和元年 7 月現在で、目標を超える 38 か所が設けられた。居場所で行われる多種多様な活動を通し、認知症の予防や仲間づくり等の介護予防に効果が期待される。

ニーズ調査にて困りごととして多くあげられた、買い物・通院・外出等に対する支援については、コンビニエンスストアによる町内各地での移動販売や、移動支援として社会福祉協議会による「かなみおでかけサポート」等が行われている。

町においては、高齢者の外出・生きがい拠点となる居場所づくりの推進を継続するとともに、ニーズが満たされるための事業の実施や、適切な助成等を行われたい。

## (2) 子どもの読書活動推進事業について

平成 25 年 4 月にかんなみ知恵の和館として開館した函南町立図書館では、「読書のまち・かんなみ」宣言のもと、年齢を問わず読書を楽しむ人々があふれるまちづくりを目指しており、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことを目的とした「函南町子どもの読書活動推進計画」により、家庭や学校、地域の各分野が連携し特色ある取り組みを進めている。

学校等との連携事業として、幼稚園・保育園親子図書館見学会や、小中学校図書館見学・調べ学習会等が行われており、子ども達が本に触れる機会が創出され、読書推進に繋がっている。

他機関との連携事業では、健康・環境関連の月間や週間に合わせた本の特集展示や、図書館エントランスホールでの出張健康栄養相談など、本に関連したさまざまな情報の提供を行っている。

その他にも、図書館開催のおはなし会、学校への読み聞かせサポート隊などさまざまな連携事業で活躍している 70 名を超えるボランティアがおり、町民と一体となり読書のまち・かんなみの実現のために取り組んでいる。

これらの取り組みが実を結び、本年「平成 31 年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受賞した。

平成 31 年 3 月には第三次の活動推進計画が策定されており、より一層の読書活動の広がりにつなげられたい。

## (3) 小学校の英語授業の現状について（現地視察含む）

新学習指導要領により、小学校 3、4 年生は週 1 時間、5、6 年生は週 2 時間の外国語授業を学習することとなる。

視察した小学校の英語授業では、日本人教師と A L T の 2 名による授業が行われており、大型のモニターに海外とのオンライン通話の画面を映し、児童が興味を持ちながら外国語学習に取り組める内容であると感じられた。

今後も新学習指導要領の目指す、コミュニケーション能力の育成につながる授業を行うとともに、町内の 5 つの小学校において、授業内容の差が生じないように、教員や A L T の適切な配置をされたい。